



保尊勉宮司代務者
宮司に就任

就任挨拶

この度、七月一日付をもちまして本社本庁より穂高神社宮司の任命を賜りました。

前宮司様には、就任後のわずか二年で御代は令和へと代わり、徳仁親王様が第一二六代天皇にご即位あそばされ、国民挙ってお祝い申し上げておりましたが、間もなくコロナ禍に苛まれ世界経済が万事休止するところとなりました。その中で感染症対策の行事縮小傾向により危ぶまれた当社式年遷宮が令和四年に斎行され、期間中十五万人の参拝客が訪れ賑わいを見ることが出来ましたことは、まさに前穂高光雄宮司が孤軍奮闘努力され周囲への叱咤激励によるものと感謝致すところであり、更に感染症はワクチンの複数回接種による普及とともに下火となり、翌五年には様々な行事再開の兆

しのある中、奇しくもお体の不調により退かざるを得なくなり、ましたことは誠に痛恨の極みでありました。今後リハビリなどに専念され、お健やかでおられることを切にお祈り致すところであります。

私事かねてより就任を覚悟してはおりませんでした、この事態に身の引き締まる思いであります。前宮司在任中での激励を思い、我が身いまだ怠惰であると心に戒告し、穂高神社の御神徳の宣揚・神明に尽力してまいる所存であります。昨今少子高齢化が進み人口の減少と核家族化の変化や氏子意識の希薄化を感じる現代に於いて、遠い昔から心のよりどころとして祈り恩恵に感謝を捧げてきた貴重な歴史財産を、これからも永く繰り返し栄えていくよう努めて参りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。おわりに氏子崇敬者の皆様のご健勝とご多幸、穂高神社の隆昌をご祈念申し上げ宮司就任のご挨拶とさせていただきます。

発行所
穂高神社社務所
創刊 昭和52年2月
〒399-8303
長野県安曇野市穂高8079
電話 0263-82-2003
FAX 0263-82-8770

交通安全祈願
車を買ったら
穂高神社



氏神さま、氏子について
氏神さまとは自らの住む土地をお守りくださる神様のごことで、その土地の暮らしや生業を営む人達を氏子と言います。いつの時代にもこの土地に住む人々の生活や未来にわたる安寧を願う心が神の心と共に守られていきます。日頃から氏神さまとご縁を大切にいたしましょう。安曇野市穂高、等々力区等々力町区、穂高町区・穂高区の氏神さまは穂高神社となります。

御船祭盛大に斎行

去る九月二十六日の宵祭から二十七日の本祭にかけて、子孫繁栄・五穀豊穡を祈る例大祭（御船祭）が今年も盛大に斎行されました。また、奉納ステージでは子供たちのお囃子に始まり、唄や踊りなど賑やかに開催され、大勢の方が神社を訪れ例大祭をお祝い申し上げました。

今年は市観光協会による御船祭体験ツアーを実施しました。各団体協力のもと、御船の曳き手に氏子以外の観光客や外国人が初めて加わり、観光客と地元の人々が一緒に参加し盛り上がりました。

御船祭のお船は、子供船と大人船とがあり、なるの新木を用いて毎年組み立てられます。男腹、女腹には着物が何十枚も掛けられ船上には毎年異なった穂高人形が飾られます。着物の持ち主は、一年間健康で過ごせると言う信仰も息づいています。お船の起源は穂高神社の祭神が海洋民族である安曇族の祖神であり安曇族は海運を司っていたこと、大將軍安曇比羅夫の船師を率いての百済救援、又氏族の朝廷での活躍などで平安時代の標山や室町時代の神座の山車等に原形を見ることが出来ます。





両町区大人船 「血戦 川中島」

御船祭 お船の場面



等々力町区子供船 「妖鬼 大江山」



穂高区大人船 「猿鬼伝説」



穂高町区子供船 「雁の乱飛で敵兵を知る」



穂高区子供船 「万水川の河童」



紅葉まつり

去る十月八日、松本市上高地明神に祀られ、日本アルプス総鎮守として崇敬の篤い穂高神社奥宮の例祭が斎行されました。

当日は、昨今の気候変動による台風の影響で雨天でありながらも多くの参拝者がお越しになり、明神池を一周する龍頭鷲首の二隻の船にカメラを向けていました。このお祭りは、上高地が色鮮やかに染まり始める頃に行われることから、紅葉まつりとも言われています。

例祭後に、日本アルプス山岳遭難者慰霊祭が斎行され、全国各地よりお越しになった遺族の方々が参列し、御霊の安鎮をお祈りしお慰めになりました。

崇敬会通信

去る九月八日（穂高神社子供祭の日）に崇敬会総会が会員二十五名の出席をいただき開催されました。総会に先立ち正式参拝を行い、参集殿にて総会が行われました。十月二十一日～二十二日には研修旅行「検見川神社正式参拝と千葉神社参拝に東京湾に浮かぶ自然島 猿島散策の旅」を行い十八名の参加をいただきました。

令和七年には、穂高神社保尊勉宮司によります講演会を開催予定です。決まりましたらご案内させていただきます。



崇敬会入会のご案内

安曇野が誇りとする式年遷宮祭や心と技を捧げる御船祭は、長い歴史の中で培われた安曇野の文化と信仰を象徴しています。

穂高の大神様は、海の恵みと山（陸）の幸を併せ持つた御神徳は広大無辺であります。

皆様方には穂高の大神様とより一層深い御神縁を結ばれ生き生きと栄え日々御護り頂けますよう「穂高神社崇敬会」へ一人でも多くの方にご入会頂きたくお勧め申し上げます。

会員種別入会金（年会費）

- 一、個人会員 三、〇〇〇円
- 一、法人会員 五、〇〇〇円
- 一、名誉会員 一〇、〇〇〇円

◎特別会員

穂高神社氏子（安曇野市穂高等々力区・等々力町区・穂高町区・穂高区在住）に限る 二、〇〇〇円

新春祈願・交通安全祈願大祭のご案内

鈴の音に祈りを込めて初まいり

神気改まる年明けとともに大切に使用されてい
るお車のお祓いを受けられ、穂高大神の御光を授
かり一年間の交通安全と靈験あらたかなご加護の
もと、家内安全、事業繁栄、商売繁盛等、諸祈願
の成就をお祈りにお越しいただきますよう謹んで
新春祈願大祭のご案内を申し上げます。

一、期間 一月一日～八日

(受付八時～十六時三十分)

一、内容 交通安全、家内安全、事業繁栄、
商売繁盛、職場安全、厄除、八方除、合格祈願、
学業成就、病気平癒、身体健全、開運厄除、心願
成就、安産祈願、初宮参り、初誕生祝い、災難除、
子授成就、良縁祈願、開運招福、お礼参り、他願
事

一、御祈願初穂料(祈禱料)

- 祈 禱 五、〇〇〇円
- 普通祈禱 七、〇〇〇円
- 特別祈禱 一〇、〇〇〇円 以上
- 交通安全祈願(車のお祓い)

- 祈 禱 一台につき 五、〇〇〇円
- 普通祈禱 一台につき 七、〇〇〇円
- 特別祈禱 一台につき 一〇、〇〇〇円
- (二台目から二輪車、普通者は三、〇〇〇円増し。大型車は四、〇〇〇円増しとなります。)

●郵送祈禱、お札・お守りの郵送のご案内

遠方にお住まいの方や様々な事情により御参拝が
叶わず御祈禱・お守りを受けられない方々のために郵
送等による御祈禱・お守りの授与を承っております。
HPの郵送祈禱、お札・お守りの郵送授与をご覧いた
だくか電話で申し込みください。

厄除・八方除・十三参り

特別祈禱祭のご案内

令和七年を迎え厄年・八方塞がりに当たる方は
お祓いをお受けになり、大神様の御加護のもと平
穩無事で明るく充実した生活をお送り下さい。
古来より厄年は人生において心身の節目や責
務の重い時期で、事故・病気・災難など障害の起
きやすい年廻りとされ、十三参りは干支が一巡す
ることから子供から成人となる節目とされていま
す。

厄年一覧表

(数え年)

男女共通十三参り	女性		男性		前厄	本厄	後厄
	年齢	数え年	年齢	数え年			
61歳	昭和41年生	昭和64年生・平成元年	61歳	昭和41年生	平成14年生	平成13年生	平成12年生
	昭和42年生	昭和65年生・平成元年		昭和42年生	昭和59年生	昭和58年生	昭和57年生
37歳	平成2年生	平成5年生	19歳	平成20年生	平成19年生	平成18年生	平成17年生
	平成3年生	平成6年生		平成21年生	平成20年生	平成19年生	平成18年生
大厄33歳	平成6年生	平成9年生	大厄42歳	昭和41年生	昭和40年生	昭和39年生	昭和38年生
	平成7年生	平成10年生		昭和42年生	昭和59年生	昭和58年生	昭和57年生
61歳	昭和41年生	昭和64年生・平成元年	25歳	平成14年生	平成13年生	平成12年生	平成11年生
	昭和42年生	昭和65年生・平成元年		平成15年生	平成14年生	平成13年生	平成12年生

「八方塞がり」

九星は人間の運勢や吉凶の判断に用いる九つ
の星のことで、九星年盤の中央に入る星を本命
星といいます。
本命星にあたる方が八方塞がりの年で、周
圍八方がふさがれ、避ける方
位は八方どの方位方面にもな
く、手の打ちようのない不安
定な年廻りとされています。

九星年盤
令和七年
八方ふさがりの方
(二黒土星・男女)



■男・女八方塞りの年まわり表 数え年

二黒土星	生まれ年	平成28年	平成19年	平成10年	昭和64年・平成元年	昭和55年	昭和46年	昭和37年	昭和28年	昭和19年
男	10歳	19歳	28歳	37歳	46歳	55歳	64歳	73歳	82歳	91歳
女	10歳	19歳	28歳	37歳	46歳	55歳	64歳	73歳	82歳	91歳

「高齢の厄年」

生まれた年の干支がもとの干支に戻ることを長
寿の祝とした六十歳の翌年が通常の厄年の最後で
あることから、現在では長寿祝を迎えた年(古希
七十歳、喜寿七十七歳、傘寿八十歳、米寿八十八歳
卒寿九十歳)の翌年が高齢の厄年です。
数え年

男女共通	年齢(祝歳の翌年)	生まれ年
91歳	71歳	昭和30年生
89歳	78歳	昭和23年生
81歳	81歳	昭和20年生
78歳	84歳	昭和17年生
71歳	91歳	昭和10年生

靈験あらたか金幣祓い
厄除・八方除の特別祈禱祭は
一月十一、十二、十三日に斎行致します。

一番祈禱のご案内

「ひとりひとりが受けられる願い事成就の金幣祓い」
年明け午前0時の時報とともに、初春のよろこ
びを神様にお告げし、天下泰平をお祈りする元旦
祭に引き続いて、新年の一番祈禱を斎行致します。
二年参り・初詣には様々な願いを心にいだき祈
られる事と存じます。

そんな多くの願いを必ず叶えていただけよう
う、新年の一番初めに一度しか行われない大変貴
重なご祈禱です。

一、祈禱料 一〇、〇〇〇円

お申し込みは、電話・ファックス・メール・イ
ンターネットにてご予約下さい。

当日申込みの方は、三十一日午後十一時より十一
時半まで受付致します。ご予約済みの方は午後十一
時四十五分までに拝殿授与所までお越しください。
尚、ご参列不可能な場合は祈禱後、御神札等郵
送致します。

●師走の大祓式

日常生活の中で知らず知らずの内に犯した過ちや、身にふりかかった穢れを祓い清め、心身ともに清浄となる神事です。

氏子の皆様には一家に一人人形を配布致しますので、氏名と、年齢をご記入の上、初穂料(五〇〇円以上のお志)を添えて当日までに氏子総代もしくは社務所へお納めください。

日時 十二月三十一日 午後三時齋行
場所 社務所前



人形 記入例

茅の輪を拜殿前に十二月二十日〜十二月三十一日まで設置いたします。参拝の折には、茅の輪をくぐり抜け半年間の罪・穢を祓い清めて下さい。

☆初穂料 三、〇〇〇円以上の方は神符を後日送付いたします。

三、〇〇〇円以上：大祓守
五、〇〇〇円以上：大祓神札・大祓守

※人形袋の裏面の記載事項を必ずご記入ください。



初詣特別御朱印

安曇之祖神
穂高神社
令和 年 月 日 参拝

頒布日
1月1日～1月31日
初穂料 500円

第三十七回「秘めたる穂高の工芸作家二十人展」

安曇野穂高が世界に誇る膝芸家、故高橋節郎先生をはじめ、各分野で活躍する先生方より作品を出展いただきます。

日程 一月一日～三日

午前九時～午後四時三十分

場所 穂高神社 参集殿

入場無料

三九郎 一月十三日

歳神様を送る行事で、火で焼いた餅や団子を食べると一年を健康に過ごせ、書初めを火にくべた時に高く上がると「字が上手くなる」と言われています。餅つきも行い、お雑煮・おしるこを振舞います。

日程 一月十三日(月)

正午頃ふるまい、終了後点火

場所 穂高神社南神苑



高校・大学受験、資格、就職 特別合格祈願祭

期日 一月十八日(土)・十九日(日)

午前八時三十分～午後四時三十分

祈願料 五、〇〇〇円・七、〇〇〇円・一〇、〇〇〇円

※一〇、〇〇〇円のご祈祷には、合格のほりを天神様に奉納致します。

特別合格祈願祭は、拜殿にてご祈祷をし、合格守・絵馬・記念品をお授けします。

特別に試験日の当日早朝に再度御祈願いたします。

節分豆まき

令和七年 年男・福女募集

来る令和七年 二月二日午後四時に行われる節分祭の豆まきに、ご奉仕いただける方を募集いたします。ご希望の方は、神社までお知らせ下さい。

◎参加料：五、〇〇〇円

神楽殿より福豆(景品付き)福銭をまきます。皆様のご参拝をお待ちしております。

※状況により、変更・中止となる場合があります。

ご参拝おみやげ



1,000円



600円

穂高神社参集殿にて販売しております
平日は販売していない日がありますのでお問合せください

神々の縁に抱かれて

穂高神社本宮 上高地 奥宮 結婚式承ります

年祭・直会(ご会食) 承ります

◆お持ちいただくのは御霊代と御遺影のみです
◆直会のみ、お料理をご自宅へ配達、お持ち帰り用の「折弁当」もご用意できます

◇神葬祭も行えます。

お料理の予算等お気軽にご相談ください

イベントなどの会場使用もできます

【ご予約・お問合せ】
0263-82-0118

穂高神社参集殿

なごみてい
和美庭

